

## 第三者評価結果報告書

| 総 括   |                                     |
|---|-------------------------------------|
| 対象事業所名  | アスク本牧保育室                            |
| 経営主体(法人等)   | (株)日本保育サービス                         |
| 対象サービス  | 横浜保育室                               |
| 事業所住所等  | 〒231-0806 神奈川県横浜市中区本牧和田1-1 グラデュオ1-B |
| 設立年月日   | 平成11年3月1日                           |
| 評価実施期間  | 平成26年 6月～26年 9月                     |
| 公表年月  | 平成 26年 12月                          |
| 評価機関名   | ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部                |
| 評価項目  | 横浜市評価基準                             |
| 総合評価（優れている点、独自に取り組んでいる点、改善すべき事項等）   |                                     |
| <p><b>【施設の特徴】</b></p> <p><b>1. 立地および環境</b><br/>アスク本牧保育室は、0～2歳児、定員45名、現在は在籍27名の保育室です。根岸線根岸駅からバス15分のところに立地し、5階建てマンションの1階にあります。園内は大きな窓から日差しが入り、保育室を棚などで区切り、活動内容に応じて有効活用しており、快適な環境を保持しています。</p> <p><b>2. 保育の特徴</b><br/>園は延長保育、一時保育を実施しています。主な保育プログラムとして専門講師による英語教室・体操教室・クッキング保育を年齢に合わせて行い、子どもの楽しむ心や学ぶ楽しさを育てています。天気の良い日は近隣の公園に毎日出かけ、戸外遊びを積極的に行っています。</p> <p><b>【特に優れていると思われる点】</b></p> <p><b>1. 子どもの育ちを一人一人丁寧に観察して指導計画に反映しています。</b><br/>職員は、子ども一人一人の心や体の育ち、友だちや職員との関わりを丁寧に観察しています。観察結果をもとに職員間で話し合っ子ども成長を理解し合った上で、指導計画の評価・反省欄にねらいに対する保育結果を具体的に記述しています。その過程で課題も明らかになり、子ども一人一人の育ちへの促しになっています。<br/>1歳児の例：（ねらい）二語文を他児や保育者に積極的に話す。（評価）「先生バイバイ」と上手にまねできた。言いやすい言葉がけや意味を理解できるようにしていく。<br/>2歳児の例：（ねらい）身振り、手振りや発語などで気持ちを伝える。（評価）思いが伝えられずに泣いていることもあったが、職員に気づいてもらい発語して、気持ちを伝えることが出来るようになった。このように楽しく過ごせるように見守っています。</p> <p><b>2. 保護者との連携が良く、園へ高い信頼があります。</b><br/>延長保育日誌に子どもの様子を記入する欄を設けて、お迎えのときに遅番の職員が保護者に口頭で伝えることが出来るようにしています。保育連絡ノートに子どもの様子を詳細に記述し、また、活動の様子を写真に撮って掲示していますが、更に職員から一言声をかけることを大事にし、保護者の安心感と職員への信頼につながっています。また、子どもの成長（立った、歩いた、しゃべった、トイレに成功したなど）が園で見られた場合、家庭での様子を聞き、保護者自身が子どもの成長に気づくように工夫し感動を共にしています。</p> |                                     |

**【特に改善や工夫などを期待したい点】**

**1. 園としての自己評価の公表**

職員の自己評価を踏まえて職員間で意見交換し、園の課題を把握して改善策を立てています。さらに保護者にもわかるように、園としての自己評価結果を公表することが期待されます。

**評価領域ごとの特記事項**

**1.人権の尊重**

- ・保育理念は「子どもの自ら伸びる力」、「五感で感じる保育」、園目標は「あかるく げんきに のびのびと」であり、子どもを尊重したものになっています。保育理念、運営理念に沿って保育課程、指導計画を策定しサービスを実施しています。
- ・子どもと話をする時は、「～しようね」とやさしく言葉をかけています。職員は子どもの気持ちを尊重するようにし、ゆっくりとしたテンポで話すように心がけ、子どもの思いを汲み取るようにしています。保育業務マニュアルに子どもの人権尊重についての記載があり、職員全員に周知しています。
- ・守秘義務の遵守、個人情報保護の意義や目的を入社時の研修や園内でのミーティングで職員に周知しています。個人情報に関する書類は、事務所内の施錠できるロッカーに保管・管理しています。
- ・子どもや保護者に対して、性別による役割分業意識を植え付けないようにしています。

**2.意向の尊重と自立生活への支援に向けたサービス提供**

- ・入園前面接で、生育歴や家庭状況を記入した入園時児童家庭調査票を提出してもらい、個人別ファイルに綴じています。
- ・全クラスにエアコン、加湿器、空気清浄器を設置・稼働し、温湿度計で適正な環境に維持されています。午睡時以外はカーテンを開け、陽光を取り入れています。
- ・各クラスとも保育室内にマット、ごっこ遊びのセットをおいてコーナーを作り、小集団で遊べるようにしています。沐浴設備、温水シャワーがあり、0～2歳児全員が必要に応じて使用しています。
- ・全員の子どもに個別指導計画が作成されており、個別の発達過程を反映した計画となっています。離乳食への移行、トイレトレーニングなど保護者と常時連携しています。
- ・プランターで枝豆、ピーマンなどを栽培し、天気の良い日は散歩に出かけ、子どもたちは積極的に自然と触れ合っています。1～2歳児は毎日合同保育の時間を設けています。
- ・子どもの食事は完食できるようあらかじめ量を加減し、食事の楽しさを味わえるようにしています。献立はその月の旬の食材を取り入れ、食欲がわくように色取り・盛り付けに留意しています。
- ・午睡時に乳幼児突然死症候群の対策として0歳児は5分おき、1歳児は10分

|                                   |   |
|-----------------------------------|---|
|                                   | <p>おきに呼吸チェックをしています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものお迎え時に、その日の子どもの様子を伝えています。保護者との個人面談、保護者参観を年2回行っています。保護者の要望や苦情は些細なことでも必ず記録しています。</li> <li>・本牧地区センターのプレイルームを利用したり、運動会では本牧小学校の体育館を借りています。地域の子育てイベントのチラシを園の玄関に置いて保護者に案内をしています。</li> </ul>   |
| <p><b>3.サービスマネジメントシステムの確立</b></p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・特に配慮の必要な子どもを積極的に受け入れています。気になる子ども2人について職員会議で様子を情報交換し議事録に残しています。</li> <li>・玄関、園舎内はバリアフリーです。障がい児が在籍する場合は、中部地域療育センターと連絡を取り合いアドバイスを受ける体制があります。</li> <li>・虐待が明白になったときには設置法人に連絡し、中区子ども家庭支援課や中央児童相談所へ通報する仕組みになっています。</li> <li>・食物アレルギー児については医師の指示書で除去食を提供し、医師の指示に従って解除しています。除去食を提供する際は、複数の職員が配膳時に2回内容をチェックし、食事中は職員が常時見守って誤食を防止しています。</li> <li>・英語、中国語による保育園説明冊子、英語版の子どもごとの月間登降園予定表やプールカードなどを用意しています。</li> <li>・苦情受け付け責任者は園長であり、行政の苦情・相談窓口として中区役所福祉保健センターこども家庭支援課の連絡先を玄関ホールに掲示し、「入園のご案内」に掲載しています。苦情解決には第三者委員を含めて解決する仕組みができています。</li> <li>・入園時に既往症や健康状態を記入した児童健康調査票を提出してもらいます。「保育園業務マニュアル」に従って視診、検温を行い、38度以上のときは安静にさせて直ちにお迎えを要請し、降園後の対応について話します。</li> <li>・年2回健康診断を行い、毎月身長と体重を計測し、記録を個人別ファイルに保管しています。健康診断の結果は書面で保護者に伝えています。</li> <li>・「感染症・食中毒対応マニュアル」があり、園内で感染症が発生した際は、感染症の種類、発生したクラスと人数、特徴と症状などを事務所前に掲示し、保護者全員に伝えています。</li> <li>・「衛生マニュアル」に従って、園内を隅々まで清掃を行ない、清掃チェック表に記入し、園内は清潔に保たれています。</li> <li>・「本牧園の災害時対応マニュアル」があり、耐震マットなどで備品の転倒を防止しています。避難訓練・消防署への通報訓練を毎月行っています。事故やけがに備えて医療機関の一覧表、保護者への緊急連絡方法を掲示しています。</li> </ul> |

|                         |   |
|-------------------------|---|
| <p>4.地域との交流・連携</p>      | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ親子面談をして登録をもらった子どもを対象として、一時保育を実施しており、毎月3～4件の予約があります。トイレトレーニングや離乳食などについての質問があった場合には、園長や職員が助言しています。</li> <li>・昨年度の七夕祭り、運動会の際にポスターを近隣の商店、小学校、園の入口に掲示し、卒園児の保護者に声をかけました。七夕祭りに卒園児の親子8組、地域の親子3組が、また、運動会に卒園児の親子10組が参加しました。</li> <li>・設置法人のホームページ、横浜市こども青少年局の「ヨコハマはびねすぽっと」、情報誌「まみたん園ナビ」に当園の情報を提供しています。</li> </ul>  |
| <p>5.運営上の透明性の確保と継続性</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員全員が第三者評価の自己評価票を記入した後で、各自の自己評価結果を発表し合い、話し合いを行ないました。</li> <li>・設置法人のコンプライアンス委員会があり、倫理・法令遵守を指導しています。設置法人の決算結果が公表されています。</li> <li>・リサイクル、省資源の一環として牛乳パック、ペットボトルなどの廃材を製作の材料にしています。省エネルギーのため、遅番職員が待機電力チェックシートを確認しながら、不必要なコンセントを抜いています。</li> <li>・27年度、認可保育園に移行する計画については、書面で保護者に告知した後設置法人が説明会を開催し、決定理由や経過などを保護者に説明しました。</li> <li>・園長が職員の保育技術を指導し、心身の健康面に配慮しています。</li> <li>・設置法人の企画部門は外部環境の変化に対応して、新たな組織運営のあり方を常に検討しています。重要な情報は、園長会議で報告され、園長は園に持ち帰って職員会議で報告しています。</li> </ul> |
| <p>6.職員の資質向上の促進</p>     | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人が作成した「保育士人材育成ビジョン」「保育士に求められる役割と能力」に、経験や年齢にあった役割や期待水準が明文化されており、階層別研修、自由選択研修が設けられています。</li> <li>・職員は、年度初めに成長目標、研修計画を立てており、年2回、自己評価し園長がアドバイスをしています。職員は研修した内容をミーティングで発表し、実践に結びつけています。</li> <li>・毎月、臨時職員も参加して園内研修を開催し、「おまごとコーナーの充実」などをテーマに子どもの遊びの幅を拡げることができました。</li> <li>・設置法人が派遣する専門講師が英語レッスンと体操教室を指導しています。気になる子どもについては㈱日本保育総合研究所の発達支援チームの指導を受けています。</li> </ul>   |

## 施設名:アスク本牧保育室

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部



3つ：高い水準にある、2つ：一定の水準にある、1つ：改善すべき点がある

## 評価領域Ⅰ 利用者本人（子ども本人）の尊重

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p><b>I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成</b></p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育理念は「子どもの自ら伸びる力」、「五感で感じる保育」、園目標は「あかるくげんきにのびのびと」であり、子どもを尊重したものになっています。職員は入社時研修で法人理念を学び、入社後はミーティング時などに園長が口頭で確認しています。理念と園目標は玄関に職員・保護者に目につきやすいよう掲示しています。</li> <li>・保育課程は子どもの最善の利益を守るという基本方針のもとに、1年を4区分に分けて、「発達過程」「ねらい」「養護と教育に関する内容と配慮事項」などについて総合的、連続的に展開し、子どもの成長に合わせたものになっています。また、「保護者・地域等への支援」の欄を設け、保護者や地域の福祉機関との連携に配慮しています。保育課程の内容について年度末に乳児・幼児のクラス会議で検討の上、職員会議で見直して作成し、年度初めの運営委員会で保育課程を保護者に配付し説明しました。改定したときは保護者に改正点を説明することになっています。</li> </ul>  |
| <p><b>I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施</b></p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・入園前面接では子ども同伴で来てもらい、園長が保護者と面接し、子どもと一緒に遊んで話しかけるなど、よく観察しています。入園前面接シートを作成し、生育歴や家庭状況を記入した入園時児童家庭調査票を個人別ファイルに綴じ、職員間で情報を共有しています。その情報は入園後の日々の保育に活用しています。</li> <li>・見学时と契約時に慣らし保育の必要性を保護者に説明し、初日は保護者が同伴して1時間程度、2日目からは子どもの個人差を考慮しながら徐々に時間を延ばして1~2週間かけて通常の時間になるようにしています。0~1歳児は主担当保育者を決めて、子どもが安心して園生活を過ごせるようにしています。子どもの心理的拠り所になるものがある場合は、タオル、ガーゼなどの持ち込みを受け入れています。</li> <li>・0~2歳児は保育連絡ノートで日々の家庭での状況・園での状況の情報連絡を密にしています。年齢別に、年間指導計画、月間指導計画（クラス別、個人別）、週案を作成しています。全ての指導計画に評価・反省の欄を設けて終了段階で評価反省を行い、必要事項は次の指導計画に反映させています。職員会議や日々のミーティング時に子どもの状況や職員の対応について意見交換し、それらを指導計画の評価、作成時に反映しています。食事、トイレトレーニングなど保護者と緊密に連絡をとっており、これらを通じて保護者の意向を指導計画に反映しています。</li> </ul> |

### I-3 快適な施設環境の確保



・衛生管理マニュアルによって、園内の清掃を行い清掃チェック表に記録しています。全クラスにエアコン、加湿器、空気清浄機を設置・稼働し、温湿度計で適正な環境に維持されていることを確認しています。室温は夏は25～28℃、冬は20℃に管理し、湿度は夏場は50%前後、冬場は加湿器や濡れタオルなども併用して30～40%に管理しています。午睡時以外はカーテンを開け、陽光を取り入れています。職員は不要な大きな声を出さないよう、音楽は必要以上の音量を出さないように心掛けており、午睡のときは心地よい音楽をかけています。

・各クラスとも保育室内にマット、畳を敷き、キッチンなどごっこ遊びのセットをおいてコーナーを作り、小集団で行動できるように環境を工夫しています。0歳児の保育室は遊び・睡眠と、食事のスペースを玩具棚などで分けてあります。1～2歳児の保育室は、様々なプログラム、食事、午睡の都度、事前に室内を清掃して場所を確保しています。沐浴設備、温水シャワーがあり、0～2歳児全員が必要に応じて使用しています。設備は清掃チェック表に基づき毎日清掃され、清潔に管理されています。

### I-4 一人一人の子どもに個別に対応する努力



・全員の子どもの個別指導計画が作成されており、個別の発達過程を反映した計画となっており、個々の子どもの発達過程を考慮しながら評価・反省し、随時見直しています。離乳食への移行、トイレトレーニングなど、保護者と連絡帳や口頭を通じて常時連携し、保護者の同意を得ながら個人別指導計画のねらい、内容を見直しています。

・生育歴や家庭状況など決められた書式に記入してもらい入園前面接に提出された書類は園児別ファイルに保管しています。子どもの発達過程は児童票（発達記録）に毎月記録しています。発達記録は事務所の園児別ファイルに保管し、全職員が閲覧出来るようになっています。進級時には、前年度の担任を一人持ち上がりにはしていますが、新しい担任には園児別ファイルの発達記録に基づいて説明しています。

### I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み



- ・特に配慮の必要な子どもを積極的に受け入れています。気になる子どもについて職員会議で様子を情報交換し、議事録に残しています。
- ・玄関、園舎内はバリアフリーです。障がい児が在籍する場合は、中部地域療育センターと連絡を取り合いアドバイスを受ける体制があります。職員は障がい児保育の研修を受けています。設置法人の発達支援チームの職員が来園して指導をする体制があります
- ・虐待対応マニュアルがあり、職員は研修を受けています。虐待が明白になったときには設置法人に連絡し、中区こども家庭支援課や中央児童相談所へ通報する仕組みになっています。園児の虐待が疑わしい場合は職員会議で全職員にその旨伝え、必要に応じて設置法人と相談する体制にしています。
- ・食物アレルギー児については、除去食申請に関する主治医意見書にもとづき除去食を提供しています。入園後は半年ごとに保護者から情報を得、毎月食物アレルギー児用献立表を用意して保護者に確認してもらっています。除去食を提供する際は、栄養士と職員が一覧表に基づいて名前と現品のラップ記載内容を口頭と目視で確認し、配膳時に複数の職員が再度読み上げて確認しています。黄色のトレイを用い、職員が一人ついて誤食を防止しています。
- ・24年度にスリランカ籍の保護者の子どもを受け入れましたが、宗教上の理由で肉除去の食事を提供しました。子どもは日本語が理解でき、他の子どもたちと違和感なく園で過ごしています。折に触れ、外国の文化を紹介しています。英語、中国語による保育園説明冊子などを用意しています。

### 評価分類

### 評価の理由（コメント）

### I-6 苦情解決体制



- ・苦情受け付け担当者は園長であり、玄関ホールに掲示し、「入園のご案内」に掲載して保護者に周知しています。保護者が参加する行事の際のアンケートで意見・要望を聞き、集計結果をまとめて保護者に配付し、また、運営委員会などの際に直接、意見・要望を聞いています。行政の苦情・相談窓口として中区福祉保健センターこども家庭支援課の連絡先を玄関ホールに掲示し、「入園のご案内」に掲載しています。玄関ホールに意見箱を設置しています。
- ・クレーム対応マニュアルがあり、苦情解決には第三者委員を含めて解決する仕組みができています。園単独で解決出来ない場合は、設置法人に連絡・相談し、また、中区福祉保健センターこども家庭支援課に相談をする体制があります。要望や苦情は「要望意見受理ノート」を用意し、職員会議で内容を検討し対応しています。

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p data-bbox="181 219 491 250">Ⅱ－1 保育内容[遊び]</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが様々なおもちゃを自由に取り出せるようにしています。0歳児には音が鳴る玩具を多く取り入れ、1～2歳児用には、ごっこ遊び用のキッチンセット、ミニカーなど興味や好みを考慮して玩具を用意しています。保育室にマットを敷いてコーナーをつくり、子どもたちが落ち着いて遊べる空間をつくっています。</li> <li>・子どもが遊んだり製作する様子を観察して設定時間を変更し、自由に意欲的に過ごせるように考慮しています。</li> <li>・職員は子どもたちの興味や発想を観察し、それを広げるようにしています。散歩先の公園でかくれんぼなど友だちと一緒に遊ぶ楽しさやルールを守って遊ぶ経験ができるようにしています。</li> <li>・2歳児の子どもたちがプランターで枝豆、ピーマンを栽培し、花を育てています。</li> <li>・天気の良い日は散歩に出かけ、公園で花摘みをしたりチョウチョを追いかけたりして、子どもたちは積極的に自然と触れ合っています。すれ違う近隣住民に「バイバイ」と手を振ったり、「こんにちは」と挨拶をしています。</li> <li>・職員は子どもたちのやりとりを見守り、必要に応じて子どもの思いを代弁しています。1～2歳児には合同保育の時間を設けています。</li> <li>・天気が良い日は毎日散歩に行っています。散歩時は帽子を被り、日差しが強い日は日陰の多いコースを選んでいきます。子どもの発達過程に合わせて運動や遊具を工夫しています。登園時に保護者に子どもの体調を確認し、体調がすぐれない子どもは戸外活動をやめて園舎内で静かに過ごすようにしています。</li> </ul> |

## Ⅱ－1 保育内容[生活]



・子どもの食事は完食できるように加減し、苦手な物でも食べた時には、ほめて意欲が出るようにしています。授乳は子どもが欲しがるときに抱っこをしながら、子どもと目を合わせ「おいしいね」と声を掛けています。子どもが手づかみやスプーンを使って意欲的に食べているときは職員は見守っています。2歳児は野菜の皮むきをして実物に触れて食事に興味がわくようにしています。

・献立はその月の旬の食材を取り入れ、食欲がわくように色取り・盛り付けに留意しています。食器は割れにくい強化磁器を使用し、食材の産地一覧表を保護者に渡すなど安全性に配慮しています。子どもの発達に合わせてスプーンからフォーク、箸に切り替えています。

・職員は子どもの喫食状況を把握し、給食会議で意見交換して調理の工夫に反映させています。

・毎月末に次月の献立表を保護者に配布しています。家庭での摂取状況を栄養士と保護者が連携して確認し、成長段階に応じた離乳食を提供しています。その日の給食・おやつの現物サンプルを玄関に展示しています。保護者の試食会は年1回運営委員会の時に行い、10名程の参加がありました。

・午睡のときは照明を消しオルゴールの音楽をかけて入眠しやすい環境を整えています。乳幼児突然死症候群の対策として0歳児は5分おき、1歳児は10分おきに呼吸チェックをし、睡眠記録簿に記録しています。

・一人一人の排泄のタイミングを職員が把握しトイレに誘導をしています。トイレトレーニングは家庭や園での様子を保育連絡ノートや送迎時に保護者と連絡し合い、無理のないように進めています。おもらしをしたときは、子どもの自尊心が傷つかないように配慮して、そっとシャワーのところに連れて行き、子どもの気持ちに寄り添って声をかけ、着替えさせています。

<工夫している事項>

トイレトレーニングの実施状況が分かるようにホワイトボードに子ども別に時間などを記載して職員が情報を共有しています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [健康管理]



・健康管理に関するマニュアルに従い、朝の視診結果や、一日に2～3回行う検温結果を保育日誌に毎日記録しています。入園時に既往症や健康状態を児童健康調査票に書いてもらい、入園後は常に保護者から健康状態を把握しています。保育中に37.5度になったときは保護者に電話で報告し、38度以上のときは安静にさせて直ちにお迎えを要請しています。歯磨き指導は2歳児より行い、職員が仕上げを手伝っています。

・年2回の健康診断を行い、また、毎月身長と体重を計測し、これらの結果は記録して個人別ファイルに保管しています。健康診断の結果は書面で保護者に伝えています。園医とは健診の際に、感染症について情報を得たり、異常ありの子どもについては専門医による受診の必要性を聞いています。保護者やかかりつけ医に伝えることがあれば、園から保護者に伝えています。必要に応じて嘱託医からかかりつけ医に連絡をします。歯科健診は行っていません。

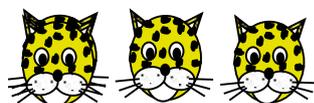
・「感染症・食中毒対応マニュアル」があり、入園時に感染症の対応や登園停止基準などが記載された入園のしおりを保護者へ渡すと共に、説明しています。保育中に発症した場合は、保護者へ速やかに連絡し、迎えが来るまで事務所で職員が一人ついて安静に過ごすよう配慮しています。園内で感染症が発生した際は、感染症の種類、発生したクラスと人数、特徴と症状などを事務所前に掲示し、保護者全員に伝えています。地域で感染症が流行している場合、中区役所から感染症情報が送られてきます。その情報は職員に回覧し周知を図っています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [衛生管理]



・「保育園衛生マニュアル」があり、各園から集約された意見のもとに毎年1回設置法人で見直し、結果は園に通知されています。職員は入社時に保育園衛生マニュアル研修を受講し、また、園内研修でマニュアルの読み合わせを行っています。その際、園内での問題点や改善点についても話し合い、衛生面の向上に活かしています。マニュアルに従って、園内を隅々まで清掃を行ない清掃チェック表に記入し、園内は清潔に保たれています。

## II-2 健康管理・衛生管理・安全管理 [安全管理]



・「本牧園の災害時対応マニュアル」があり、地震対策として棚やカラーボックスの下に耐震マットを敷き、布団庫はL字型の留め具で固定しています。緊急時の連絡フローを事務所内に掲示してあり、園と保護者間は一斉メールで緊急連絡が速やかに行われるようになっています。避難訓練・消防署への通報訓練を毎月行い、また、広域避難場所である「山頂公園」へ時間を図りながら避難する訓練を毎年しています。赤十字幼児安全法の資格を6名の職員が取得しています。心肺蘇生法についてミニアンを使って全職員が訓練をしています。

・医療機関一覧や保護者の緊急連絡簿が作成され、消防署や警察署への連絡体制が確立しています。緊急時の対処方法は事務所内に掲示されています。子どものケガへの対応は、軽傷の場合でも保護者に状況を報告、発生場所、経過、今後の予防策をアクシデントレポートに記録しています。自園で発生したケガについて再発防止対策を職員会議で話し合い、また、園長会議で報告される他園のケガの事例をを自園に当てはめて発生させないために話し合いをしています。

・不審者の侵入防止策として、玄関ドアはオートロックで施錠され、訪問者を確認後開錠しています。合言葉をきめて、不審者対応の訓練を行っています。不審者を発見した場合、最寄りの警察署、設置法人本部、警備会社に通報することになっています。

・中区役所、自治会、近隣の保育園、設置法人から不審者情報が入る体制になっています。

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）   |
|--|---|
| <p>II-3 人権の尊重</p>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもと目線を合わせて「～しようね」と命令口調でない言葉をかけるように心がけています。子どもに話しかける時は、子どもに分かるようにゆっくりと話をしています。子どもの言葉がわからない時には前後の状況から判断して「～したかったの？」と子どもの思いを汲み取っています。</li> <li>・個人情報の取り扱いや守秘義務について入社時の研修や園内でのミーティングで職員に周知しています。園外で職員同士が飲食をする際には、子どもや保護者の個人情報に該当する話は避けています。</li> <li>・カラー帽子、食事用エプロン等の選択や生活発表会の役決めの際に性別による区別をしておりません。</li> </ul>  |
| <p>II-4 保護者との交流・連携</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものお迎え時には、できるだけ担任が対応し、担任不在の場合には延長保育日誌の日中の子どもの様子の記入欄を参照して遅番職員が日中の子どもの様子を口頭で保護者に伝達しています。個人面談は、保護者アンケートに基づいて、年2回各2週間設定し、保護者が都合がよい日時に実施しています。</li> <li>・保護者から相談の申込があった場合には、他の保護者に聞かれない場所で相談に対応しています。</li> <li>・毎週、保育の様子を写真に撮り保育室内に掲示するとともに、月1回インターネット経由で販売をしています。</li> <li>・保護者の要望に応じて保育参観を年2回、各2週間設定して保護者の都合に合わせて参観してもらっています。</li> </ul> <p>&lt;工夫している事項&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・延長保育日誌に日中の子どもの様子欄を設けて、遅番の職員が子どもの様子を保護者に口頭で伝えることができるようにしています。</li> <li>・保育連絡ノートには、クラス全体の活動だけでなく、必ず対象児の様子をきめこまかく記述して知らせること、並びに敬語を使用することなどを申し合わせています。保育理念の「五感を使った保育」を実践していることなどを、保護者に具体的に伝えています。</li> </ul> |

### 評価領域Ⅲ 地域支援機能

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p>III-1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供</p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・あらかじめ親子面談をして登録した子どもを対象として、一時保育を実施しており、毎月3～4件の予約があります。一時保育は短時間でも長時間でも受け付けています。一時保育の子ども様子を「一時保育記録票」に詳細に記録し保護者に口頭での説明を加えて渡しています。</li> </ul> <p>&lt;コメント・提言&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が多い一時保育の申請書に保護者が記入する一時保育利用目的などから見えて来る地域の子育て支援ニーズについて職員間で話し合うことが望まれます。</li> <li>・育児相談受付のポスターを前面道路側に掲示し、見学者や一時保育希望者や園行事の一般参加者から育児相談を受けた場合には、育児相談ノートに記録することが望まれます。</li> </ul> |

## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）  |
|---|--|
| <p><b>Ⅳ－１ 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ</b></p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・七夕祭り、運動会の際にポスターを近隣の商店、小学校、園の入口に掲示し、卒園児の保護者に声をかけました。七夕祭りに卒園児の親子8組、地域の親子3組が、また、運動会に卒園児の親子10組が参加しました。</li> <li>・自治会の回覧板で園のお知らせを回覧し、保育室で行っていることや子育てに関する情報を提供しています。昨年度は木の枝で作った手作りのペンダントを、近隣商店、地区センター、消防署に子ども達が散歩の際に持って行きプレゼントし、大変喜ばれました。</li> <li>・本牧地区センターのプレイルームに月1～2回散歩に行き利用しています。運動会では本牧小学校の体育館を借りています。地域の母親の有志が集まって子育て関係のイベントを行う際に、そのチラシを園の玄関に置き、保護者が参加できるように配慮しました。毎年秋に、中区内の保育園の年長児が集まって、山頂公園で「駅伝大会」の応援に参加しています。</li> <li>・散歩のときにすれ違う地域の人たちに職員が挨拶をし、それを見て園児が真似をして挨拶したりバイバイと手を振っています。</li> </ul> |
| <p><b>Ⅳ－２ サービス内容等に関する情報提供</b></p>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人のホームページがあり、保育室の概要や行事の様子を開示しています。横浜市こども青少年局の「ヨコハマはびねすぽっと」、情報誌「まみたん園ナビ」に当園の情報を提供しています。</li> <li>・園の見学者には、運営方針やサービス内容など必要な情報を記載している入園案内（パンフレット）を配布して説明しています。見学希望の問い合わせがあった場合は園長が対応しています。保育の様子が分かりやすい平日の午前中を勧めています。見学者の都合で午後や土曜日でも受け付けています。</li> </ul>   |

## 評価領域Ⅴ 人材育成・援助技術の向上

| 評価分類  | 評価の理由（コメント）   |
|---|---|
| <p><b>Ⅴ－１ 職員の人材育成</b></p>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置法人の人材育成ビジョンに基づいて運営理念や保育方針を踏まえた人材育成計画が策定され階層別研修などが設けられています。正規職員は、年度初めに1年間の成長目標、研修目標、研修受講計画を立てており、上半期と下半期の2回、評価と反省を行ない、園長がコメント欄の記入やアドバイスをを行っています。</li> <li>・設置法人が社内研修の年間計画を作成しています。社内研修は、正規職員全員が経験年数に応じた内容で受講する階層別研修と非常勤を含む職員が自由に選択して受講する自由選択研修並びに各園で月1回テーマを決めて全職員が調べたことを発表し合う園内研修が実施されています。園内研修の前半は正規職員で行い、後半の反省会には非常勤職員も参加しています。心肺蘇生法（CPR）嘔吐物処理、不審者対策の研修は全職員が参加して開催しました。</li> <li>・横浜市中区が主催する研修が定期的に開催され、職員が自発的に参加しています。</li> </ul> |

**V-2 職員の技術の向上**



・正規職員は、自己査定を行い、自己の仕事への取組などに関する振り返りを行っています。園長とエリアマネージャが査定を行なった後に、職員面談を実施しています。

・保育日誌に評価・反省欄があり各クラスごとに、日々の保育の振り返りを行って記入しています。保育のねらいに対する子どもの様子を中心に評価・反省欄の記入を実施しています。週案、月間指導計画の書式にも振り返り欄があり、振り返りに基づいて次の計画を立てています。

＜コメント・提言＞

・園の自己評価をまとめて、園だよりに添付したり、玄関ロビーに掲示して、保護者がいつでも自由に閲覧できるようにすることが望まれます。

**V-3 職員のモチベーションの維持**



・設置法人が作成した「人材育成ビジョン」や「保育士に求められる役割と能力」に、経験や年齢にあった役割や期待水準が明文化されています。職員面談は年2回実施して内容を記録していますが、必要に応じて園長が職員の意見を聞く機会を設けています。エリアマネージャーによる職員面談も年に1～2回実施しており、園長に言い難いことも言える体制があります。新卒職員には、年齢が近い先輩職員がチューターとして付いていますが、月に1回チューターと新卒職員との面談の機会を設けて日ごろの様子や悩みなど、何でも気軽に話せるようにしています。クラス運営については、基本的に担任に任せて、園長に報告する義務を課しています。担任が複数いるクラスでは、保育を計画して推進するリーダー役を週ごとに交代して、年齢、経験の関係なく、自分がやりたい保育を実施できるようにしています。

**評価領域VI 経営管理**

| 評価分類   | 評価の理由（コメント）  |
|--|--|
| <p><b>VI-1 経営における社会的責任</b></p>  | <p>・業務マニュアルにコンプライアンス条項が明文化されており入社時の設置法人の代表者による研修でもコンプライアンス条項の説明が行われています。コンプライアンス委員会への社内通報制度の説明文が事務所内と職員ツーカー室内に掲示されており、指定弁護士の連絡先が明記されています。系列園で不正な事例が発生した場合には園長会議で報告されるほか、全園にFAXで周知され、ミーティング時に自園に当てはめて、問題点について話し合っています。</p> <p>・生活発表会の舞台を牛乳パックと古雑誌で作成しました。保護者の協力を得て、エコキャップの回収を行い、3,698個のエコキャップを約4人分のワクチンに交換しました。</p> <p>・省エネルギーのため、設置法人が作成した「節電啓発ポスター」を事務室内に掲示して、節電に対する具体的な取り組みを職員に促しています。</p> |

**VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等**



・入社研修では運営理念や保育理念の説明を受け、保育理念が、玄関、事務所内、職員ロッカー室に掲示され、職員の理解を深めています。

・27年度、認可保育園に移行する計画については書面で保護者に告知した後に、設置法人が説明会を開催して、決定理由や経過などを保護者に説明しました。また、横浜市中区職員による認可保育園移行説明会の開催を8月に予定しています。26年後半の園内研修のテーマを「幼児保育」にすることを決定して事前準備をしています。

・若く経験が浅い職員が多いため、社会人としての常識から保育技術に関することまで園長が助言や指導を行っています。直ちに改善が必要なことはその場で助言を行い、そのほかの場合や複数の職員に当てはまることは、職員会議の議題として採りあげて話し合い、助言や指導を行っています。

**VI-3 効率的な運営**



・横浜市の待機児童解消策の一環で、27年度に、当園が認可保育園に移行することが決定されたため、26年度までの中期計画が作成されており、認可保育園移行に備えて地域の理解を得ることを目的とした給食の公開試食会や園内開放などの実施計画が記述されています。

施設名： アスク本牧保育室様

ナルク神奈川福祉サービス第三者評価事業部

## 利用者家族アンケート

### 結果の特徴

◇アンケート回収率 対象家庭数26 アンケート回収数10 回収率38%

#### ◇総合満足度

施設に対する総合的評価の満足度(満足とどちらかといえば満足を合わせたもの)は、100%という高い結果です。

#### ◇非常に満足度の高い項目(満足度が100%)

##### 1. 園の基本方針について

「よく知っている」と「まあ知っている」は合わせて70%であるが、そのうちの100%が基本方針に賛同しています。

2. 入園した時の状況では、見学の受け入れ、保育方針や1日の過ごし方の説明の満足度が100%です。

3. 保育や行事についての満足度は100%です。

##### 4. 日常の保育 遊びについて

戸外遊びを十分しているか以外は満足度100%です。

##### 5. 日常の保育 生活について

昼寝や休憩への対応、体調への気配り、ケガへの対応どれも満足度100%です。

おむつはずしについては、その時期でないという理由でその他回答以外は満足となっています。

##### 6. 保育園の快適さや安全対策について

落ち着いて過ごせる雰囲気と感染症の情報提供は満足度100%です。

##### 7. 園と保護者との連携・交流について

個人面談の時期がまだのためその他回答がある以外は、すべて満足度100%となっています。

##### 8. 職員の対応について

子どもが大切にされているか、子どもが楽しんでいるか、意見や要望への対応について満足度が100%です。アレルギーについては該当しないためその他回答というのが10%ありました。

#### ◇比較的満足度の低い項目

1. 不審者対策で、「不満」「どちらかといえば不満」が合わせて30%あります。

## 調査結果

### ■保育室の基本理念や基本方針について

|                 |         |         |           |         |          |     |
|-----------------|---------|---------|-----------|---------|----------|-----|
| 施設の基本理念や基本方針の認知 | よく知っている | まあ知っている | どちらともいえない | あまり知らない | まったく知らない | 無回答 |
|                 | 10%     | 60%     | 20%       | 0%      | 0%       | 10% |

↓ 問1で「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した方のうち

#### 付問1

|           |       |         |           |           |        |     |
|-----------|-------|---------|-----------|-----------|--------|-----|
| 理念や方針への共感 | 共感できる | まあ共感できる | どちらともいえない | あまり共感できない | 共感できない | 無回答 |
|           | 100%  | 0%      | 0%        | 0%        | 0%     | 0%  |

### ■施設のサービス内容について

#### 問2 入所した時の状況

|                                       | 満足            | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------------|---------------|------------|------------|----|-----|-----|
| 見学の受け入れについては                          | 60%           | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                       | その他:          |            |            |    |     |     |
| 入所前の見学や説明など、園からの情報提供については             | 60%           | 30%        | 10%        | 0% | 0%  | 0%  |
|                                       | その他:          |            |            |    |     |     |
| 保育室の目標や方針の説明には                        | 60%           | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                       | その他:          |            |            |    |     |     |
| お子さんの様子や生育歴などを聞く対応には                  | 50%           | 40%        | 0%         | 0% | 10% | 0%  |
|                                       | その他: 覚えていません。 |            |            |    |     |     |
| 保育園での1日の過ごし方についての説明には                 | 60%           | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                       | その他:          |            |            |    |     |     |
| 入所後に食い違いがなかったかなども含め、費用やきまりに関する説明については | 50%           | 40%        | 0%         | 0% | 10% | 0%  |
|                                       | その他:          |            |            |    |     |     |

**問3 保育室に関する年間の計画について**

|                                | 満足                           | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--------------------------------|------------------------------|------------|------------|----|-----|-----|
| 年間の保育や行事についての説明には              | 80%                          | 20%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                | その他:                         |            |            |    |     |     |
| 年間の保育や行事に、保護者の要望が活かされているかについては | 60%                          | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                | その他: まだ行事に参加したことがないため、わかりません |            |            |    |     |     |

**問4 日常の保育内容について**

**遊びについて**

|  | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|--|------|------------|------------|----|-----|-----|
| クラスの活動や園の遊びについては<br>(お子さんが満足しているかなど)                   | 80%  | 20%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |
| 子どもが戸外遊びを十分しているかについては                                  | 60%  | 30%        | 10%        | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |
| 保育室のおもちゃや教材については<br>(お子さんが自由に使えるように置いてあるか、年齢にふさわしいかなど) | 70%  | 30%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |
| 自然に触れたり地域に関わるなどの、施設外活動については                            | 70%  | 30%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |
| 遊びを通じた友だちとの関わりや、保育士との関係などについては                         | 80%  | 20%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |
| 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取り組みについては                            | 60%  | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|  | その他: |            |            |    |     |     |

**生活について**

|                      | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|----------------------|------|------------|------------|----|-----|-----|
| 給食のメニューの充実については      | 70%  | 20%        | 0%         | 0% | 0%  | 10% |
|                      | その他: |            |            |    |     |     |
| お子さんが給食を楽しんでいるかについては | 60%  | 30%        | 0%         | 0% | 0%  | 10% |
|                      | その他: |            |            |    |     |     |

|  |                           |     |    |    |     |    |
|--|---------------------------|-----|----|----|-----|----|
| 基本的な生活習慣（衣服の着脱、手洗いなど）の自立に向けての取り組みについては           | 60%                       | 30% | 0% | 0% | 10% | 0% |
|  | その他：そのような段階ではなく、何ともいえない。  |     |    |    |     |    |
| 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては                 | 70%                       | 30% | 0% | 0% | 0%  | 0% |
|  | その他：                      |     |    |    |     |    |
| 家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めるなど、園でのおむつはずしへの取り組みについては | 50%                       | 30% | 0% | 0% | 20% | 0% |
|  | その他： そのような段階ではなく、何ともいえない。 |     |    |    |     |    |
| お子さんの体調への気配りについては                                | 80%                       | 20% | 0% | 0% | 0%  | 0% |
|  | その他：                      |     |    |    |     |    |
| 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には                    | 80%                       | 20% | 0% | 0% | 0%  | 0% |
|  | その他：                      |     |    |    |     |    |

#### 問5 保育室の快適さや安全対策について

|                        | 満足   | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満  | その他 | 無回答 |
|------------------------|------|------------|------------|-----|-----|-----|
| 園舎、園庭などの施設については        | 20%  | 70%        | 10%        | 0%  | 0%  | 0%  |
|                        | その他： |            |            |     |     |     |
| お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気については | 60%  | 40%        | 0%         | 0%  | 0%  | 0%  |
|                        | その他： |            |            |     |     |     |
| 外部からの不審者侵入に対する備えについては  | 40%  | 30%        | 20%        | 10% | 0%  | 0%  |
|                        | その他： |            |            |     |     |     |
| 衛生管理や感染症対策については        | 50%  | 50%        | 0%         | 0%  | 0%  | 0%  |
|                        | その他： |            |            |     |     |     |

#### 問6 保育室と保護者との連携・交流について

|                                     | 満足            | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|-------------------------------------|---------------|------------|------------|----|-----|-----|
| 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については        | 80%           | 10%        | 0%         | 0% | 10% | 0%  |
|                                     | その他： まだわからない。 |            |            |    |     |     |
| 保育室だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については | 90%           | 10%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                     | その他：          |            |            |    |     |     |

|   |      |     |    |    |    |    |
|---|------|-----|----|----|----|----|
| 保育室の行事の開催日や時間帯への配慮については                   | 90%  | 10% | 0% | 0% | 0% | 0% |
|   | その他: |     |    |    |    |    |
| 送り迎えの際のお子さんの様子に関する説明については                 | 70%  | 30% | 0% | 0% | 0% | 0% |
|   | その他: |     |    |    |    |    |
| お子さんに関する重要な情報の連絡体制については                   | 80%  | 20% | 0% | 0% | 0% | 0% |
|   | その他: |     |    |    |    |    |
| 保護者からの相談事への対応には                           | 70%  | 30% | 0% | 0% | 0% | 0% |
|   | その他: |     |    |    |    |    |
| 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応には | 80%  | 20% | 0% | 0% | 0% | 0% |
|   | その他: |     |    |    |    |    |

### 問7 職員の対応について

|                                 | 満足                    | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | その他 | 無回答 |
|---------------------------------|-----------------------|------------|------------|----|-----|-----|
| あなたのお子さんが大切にされているかについては         | 60%                   | 40%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                 | その他:                  |            |            |    |     |     |
| あなたのお子さんが保育室生活を楽しんでいるかについては     | 80%                   | 20%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                 | その他:                  |            |            |    |     |     |
| アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については | 80%                   | 10%        | 0%         | 0% | 10% | 0%  |
|                                 | その他: 特に該当しないのでわかりません。 |            |            |    |     |     |
| 不満や要望を気軽に言えるかどうかについては           | 80%                   | 10%        | 0%         | 0% | 10% | 0%  |
|                                 | その他:                  |            |            |    |     |     |
| 不満や要望への対応については                  | 70%                   | 30%        | 0%         | 0% | 0%  | 0%  |
|                                 | その他:                  |            |            |    |     |     |

### 問8 保育室の総合的評価

|        | 満足  | どちらかといえば満足 | どちらかといえば不満 | 不満 | 無回答 |
|--------|-----|------------|------------|----|-----|
| 総合満足度は | 80% | 20%        | 0%         | 0% | 0%  |

## 観察方式による利用者本人調査

### アスク本牧保育室

#### 【0歳児】

##### <授乳・食事>

職員が「ミルクを飲みましょうね」と子どもに声をかけながら、哺乳瓶を持って授乳を開始します。子どもは、片手におもちゃのコップを持ちながら哺乳瓶を吸います。職員が子どもに話しかけながら離乳食を口元に運んでいます。「〇〇ちゃん、どうぞ。パックん。いいねえ。」 「はい、もぐもぐ、じょうず、じょうず、うまい、うまい」職員がパチパチと手をたたきます。子どもは口の周りにご飯を付けたまま職員をじっと見つめています。「〇〇ちゃん、完食。よく食べましたー。ごちそうさま！」 隣の子どもが手を伸ばしてきます。「△△ちゃんのはこっちよ」と言われた子どもはそのトレイのご飯を手づかみにして食べ始めました。

職員がご飯を小さなおにぎり状にしてあげると、子どもたちは進んで食べ始めます。手づかみでおかずを口に入れようとしている子どもを見つけた職員が、プラスチック製のスプーンを使って口に入れてあげて、「モグモグカミカミ」と声を掛けると、子どもは、職員の声に合わせて口を動かし始めます。隣の子どもは食事が終わり、服に付いたご飯粒を一つずつ職員に取ってもらいます。

##### <遊び>

マットの上でハイハイをしながらボール遊びをしている子どもがいます。子どもはつかまり立ちしてから一人で歩き出し、満面の笑みを浮かべています。棚からおもちゃを取り出して遊び始めました。サークルの縁に様々なおもちゃが取り付けられている遊具に職員が乗せてあげると、子どもはおもちゃを手で触って音を出したり、じっと見つめています。子どもがマットの上でミルクの空き缶をつかんで振り、中に入れてあるビーズの音を出して遊んでいます。

##### <午睡>

窓のカーテンを閉め、照明を消して薄暗くした部屋で、3人の子どもが布団の上で寝ています。職員が定期的に子どもの手、胸、頭にそっと手を当てて異常がないことを確認しています。子どもの1人がぐずり出したので、職員がだっこしてやさしく声をかけながらあやしています。やがて子どもが寝入ったので、そっと布団に移し、タオルケットをかけました。

## 【1歳児】

### <遊び>

円形マットに座った子どもが、おもちゃ入れのかごからミニカーを出したり入れたりして遊んでいます。上手に出し入れできないのをみて、「はい、入れるのねー」と職員がときどき手伝います。後ろに引いて走り出すミニカーに興じている子どもがいます。子ども同士でミニ機関車を渡すのを職員が見て「〇〇ちゃん、ありがとうって言おうね」と声をかけると、渡された子どもは「ありがとう」と真似をして言います。やがて遊びの時間が終わり、おもちゃを片付け始めます。「〇〇ちゃん、お片付けお願いしまーす」と職員に声をかけられ、誘導されてかごに戻っています。いっぱいになったかごを抱えて子どもが収納ラックにかけていき、棚に収めます。「ありがとう」と職員が声をかけます。マットを片付け、窓際に子どもたちが集まり、絵本の読み聞かせを始めます。子どもたちは皆、絵本に集中しています。職員はアドリブでお話をアレンジしながら子どもたちに話をしています。職員が「チュチュチュ、チュチュチュ」と指をたたくと、皆まねをして指をたたきながらも目は絵本から離れません。

### <午睡>

窓のカーテンを閉め、消灯し部屋を薄暗くしてあります。子どもたちはトイレを済ませて帰ってくると布団の上に寝転がっています。職員が子どもの頭をなで、おなかや背中をやさしくさすっています。静かな音楽が流れ、心地よい眠りに誘われて子どもたちは寝入っています。「ア…ウ…」声を出してなかなか寝付けない子どもがいましたが、職員に抱かれて膝の上でやさしくあやされ、目を見つめているうちに、やがて寝入りました。

## 【2歳児】

### <リズム遊び>

音楽に合わせて職員と子どもたちが部屋中をかけ回っています。飛び跳ねます。片足を交互に上げます。手をたたきます。わざと寝転がって皆を眺めている子どももいます。皆の輪に入れずにマットに寝転がっている子どももいます。職員がときどき来てニコッと微笑みかけます。やがてその子どもは皆の真似をそっとし始めました。職員が来てうなずきながら手を取っています。ミッキーマウスの歌になり皆歌いながらリズムに合わせて飛び跳ねます。職員の体にぶつかって甘える子どもに、職員がやさしく手を取り皆の輪の中に戻します。かけ回ってバターンと倒れる子どもに「〇〇ちゃん、だいじょうぶ？」と職員がすかさず声をかけます。「うん」と何でもないようにかけ回り始めました。

### <新聞ちぎりの遊び>

職員たちが新聞紙を破り、リボンを何本も作って腰に付け走り始めました。子どもたちはめいめい新聞紙を好き勝手にちぎって放り投げます。職員が新聞紙に目口の穴をあけ「ほら、お化けだよー」。皆、キャーキャーと喜び、かけ回ります。新聞紙をひらひらさせて職員が剣闘士の構えをすると、子どもたちが喜んで次々と突っ込んでいきます。ちぎったり丸めたりした新聞紙が部屋中に散らばる中を、子どもたちがうれしそうにかけ回っています。

### <食事>

ほとんどの子どもは、フォークを手に持って食べています。プレート上の食器がほとんど空になっている子どもには、職員がお代わりを勧めに来ます。食欲がないのか、炊き込みごはんが半分以上残っている子どもには、職員がおにぎりにしてあげると、子どもはおにぎりを手に持ってパクパク食べ始めました。食事が進みお代わりをする子どもが出始めました。ほぼ空になったお皿を職員がみて「〇〇ちゃん、お代わりする？」と声をかけます。「うん」とこっくりし、お代わりを入れられて盛んに食べ始めるのを見て「〇〇ちゃん、すごいね」別のこどもに「◇◇ちゃん、トマトは食べられない？」子どもが横を向くので「じゃ1つだけ食べて？ エビもいっしょに食べてね」やがて時間をかけてその子どもはトマト1片を食べ終わりました。うしろの席の子どもに話しかけたりふざけている子どもがいます。「△△ちゃん、食事のときは前を見ようね」と職員に声をかけられて、その子どもはまた食べ始めました。

### 【0～2 歳児合同】

#### <お誕生会>

1～2 歳児全員が座り、職員が読む絵本に集中しています。やがて0 歳児が加わりました。0～1 歳児はみな職員の手の上に座って満足そうにしています。「〇〇ちゃん、◇◇ちゃん、前に出ようね」当の子どもは、モジモジしていましたが、やっと前に出ました。職員から手作りの手品ボトル、手作りのおもちゃのケーキを渡されました。職員が乳白色の溶液入りのペットボトルを2 本取り出してキャップを取り換えて上下に振り始めると、乳白色の溶液が、それぞれブドウ色とイチゴ色に変色します。オルガンの伴奏でハッピーバースデーを全員で歌います。前に出ている子どもが、ケーキに向かって「フーッ」とローソクの火を消す仕草をしました。次に、誕生日プレゼントの贈呈式が始まりました。「おめでとう」と二人がそれぞれプレゼントの絵本をもらいます。ほかの子どもたちは、一斉にパチパチと手をたたいていました。絵本を開けると、子どもの顔写真と手形が飛び出してきました。二人ともうれしそうにニコニコしています。

## 平成 26 年度 第三者評価事業者コメント（アスク本牧保育室）

### 「受審の動機」

昨年度に引き続き、第三者評価を受審させていただきました。園の運営を振り返るとともに、今現在や今後の課題を見出す有効な手段として感じたためです。

運営主体の理念として、「利用者に本当に求められるサービスを提供すること」を掲げており、利用者調査を基に保護者のニーズを把握しながら、日々の運営に反映させるべく、評価受審に臨みました。評価機関の選定については、現在行っている保育内容に加え、昨年ご指摘いただいた点が、どの程度まで改善できているかを明確に比較できるよう、昨年度と同様の機関へ依頼しました。

### 「受審した結果」

職員それぞれが自己評価を行い、第三者の目から見ていただくことにより、日々の保育を見直すきっかけとなり、今後、改善すべき点が明らかになるとともに、引き続き努力していくべき自園のよい点にも、改めて気付ける機会となりました。また、全職員が同時期に保育を見直すことで、運営方針や理念、今後園が目指していく方向性を再確認することができました。

今後の課題としては、評価結果とそれに対するフィードバックを、保護者へも明確に示すということです。そうすることにより、園全体の方向性が明らかになり、保護者の保育に対する理解や信頼が、より深まっていくと思います。この課題に取り組むことにより、今後もよりよい園づくりができるよう、努力してまいります。

今回、保育計画や、それに対する評価・反省の記入について、子ども達一人ひとりの様子をよく捉え、的確に記入できていると、とてもよい評価をいただきました。高く評価していただいた点は、自園の長所としてとらえ、更なる向上を目指し、今後も継続してまいります。

来年度からは、認可保育園へ移行しますが、引き続き職員が働きやすく、楽しんで仕事に取り組める職場を目指し、そして利用者のニーズに耳を傾け、それに沿った保育サービスを提供していけるよう、また、利用者以外の地域住民にも親しみのある、地域に根差した園になれるよう、評価結果を真摯に受け止め、職員の意識向上を保育の質向上へとつなげてまいります。

最後に、受審にあたりご尽力いただいた、評価機関の皆様、ご多忙にも関わらず、利用者調査にご協力いただいた在園児の保護者の皆様に心より感謝申し上げます。